

平成23年5月24日

**東日本大震災における広島大学の対応について**

3月11日午後に発生した東日本大震災に対して、広島大学では、災害対策本部を3月14日（月）に設置しました。

このたびの地震により被災された皆様に対して、引き続き、下記のとおりできる限りの支援を行う所存です。

## 記

## 1. 医療活動支援関係について

## (1) 「三次被ばく医療機関」としての広島大学の活動について

広島大学は西日本ブロックの「三次被ばく医療機関」として、「広島大学緊急被ばく医療推進センター」、「広島大学病院」と「原爆放射線医科学研究所」が、東日本ブロックの「三次被ばく医療機関」である「放射線医学総合研究所」と連携し、被ばく医療に特化した活動を行っています。

## ①

緊急被ばく医療チームを編成し、福島県へ連続派遣。

3月12日（土）第1班を派遣し、5月24日（火）現在までに74日間で延べ541名（基本チーム構成：医師2名、診療放射線技師1名、看護師1名、事務職員2名。第13班（4月28日出発）以降の緊急被ばく医療チーム編成を、医師1名、診療放射線技師1名、事務職員1名の計3名体制にした。）を派遣しています。

② オフサイトセンター（福島県庁内）医療班の一員として、傷病者評価、除染、初期医療対応、搬送手段およびルート、受入医療機関調整を担い、被ばく傷病者が発生した場合の広域搬送などに備え待機し、また、福島第1原子力発電所直近の医療拠点であるJヴィレッジに医療班を派遣し、事故発生時に直ちに対応できるように待機していましたが、4月28日（木）にオフサイトセンターおよびJヴィレッジから福島県立医科大学に拠点を移し活動を続けています。

③ 福島県自治会館に「緊急被ばく医療調整会議」を立ち上げ、主に避難住民などのサーベイ業務の調整を行うとともに、専門家としてのサーベイおよび住民健康調査に協力してきました。現在、5月22日（日）から始まった住民の一時立ち入り実施において、放射線医学総合研究所とともにサーベイ業務の指導的な立場を担い、住民の不安軽減や安心、安

全に貢献しています。

- ④ なお、神谷研二緊急被ばく医療対策委員会委員長は、「福島県放射線健康リスク管理アドバイザー」として、福島県内各地区において、福島県教育委員会が主催する教育関係者などの説明会で講義を引き続き行っています。

【本件に関するお問い合わせ先】  
広島大学緊急被ばく対策委員会  
TEL：082-257-5398

(2) 他機関などの依頼による派遣について

- ① 東北関東大震災復興支援特別委員会（公益社団法人日本心理学会）  
委員への就任（任期 平成23年4月9日から平成24年3月31日）。  
（教育学研究科：准教授2名）

【本件に関するお問い合わせ先】  
教育学研究科運営支援グループ  
TEL：082-424-6705

- ② 宮城派遣一次隊ボランティア派遣（社団法人日本理学療法士協会）  
4月16日（土）～23日（土）、生活機能対応専門職チームとして、  
生活不活発病に対するアプローチなどを行いました。  
（保健学研究科：教授1名）

【本件に関するお問い合わせ先】  
医歯薬学総合研究科運営支援グループ  
TEL：082-257-5341

- ③ 広島医療チーム（広島県）  
4月24日（日）～4月30日（土）福島県須賀川市の避難所など  
において診療活動を実施しました。  
（医師3名、看護師2名、事務1名）

【本件に関するお問い合わせ先】  
病院総務グループ  
TEL：082-257-5007

2. 被災地の学生・研究者の受入対応について

(1) 被災地域の学生に対する対応

広島大学では、被災地域の学生に対する講義の履修、聴講などを、すべての学部・研究科において無償（宿泊施設についても無償）で受け入れています。

【講義の履修、聴講に関するお問い合わせ先】  
教育室教育企画グループ（教務・学籍を担当）  
TEL：082-424-6156

【その他（住居など）のお問い合わせ先】  
教育室学生生活支援グループ専門員 田中  
TEL：082-424-6145

\*現在の受入状況

- 生物生産学部において、北里大学の学生（4年）1名を受け入れる予定です。受入期間は、平成23年6月1日から平成24年3月31日。宿泊施設として、池の上学生宿舎を提供します。

【本件に関するお問い合わせ先】  
生物圏科学研究科支援室長 坂本  
TEL：082-424-7901

(2) 研究者に対する研究支援

広島大学では、被災地域の大学のみならず、計画停電などによる影響が懸念される関東以北の大学などの研究者に対して、研究スペース・研究装置の利用など可能な支援を行います。

【本件に関するお問い合わせ先】  
学術室 学術企画グループリーダー 小左古  
TEL：082-424-5860

3. 義援金募金活動について

平成23年4月1日から4月28日（第2回受付期限）までの間に東広島キャンパス、霞キャンパスおよび東千田キャンパスならびに東京オフィスにおいて募金いただいた義援金は、合計 4,048,112円になり、去る5月16日（月）に、日本赤十字社広島県支部へ寄託いたしました。

義援金の総額は、19,140,361円となりました。

なお、日本赤十字社広島県支部への目録贈呈式は、5月30日（月）15時から日本赤十字社広島県支部で行います。

【本件に関するお問い合わせ先】  
財務・総務室 総務グループリーダー 山根  
TEL：082-424-6011

## 東日本大震災に係る本学の対応（要約版）

### 1. 危機管理・災害対策本部

平成23年3月14日（月）9：00設置（学長（本部長），理事，副学長 ほか）

### 2. 被災学生に対する支援関係

平成23年3月14日（月）に経済的な相談に応じる窓口及び学生ボランティア登録窓口を開設するとともに、池の上学生宿舎（男女各5室，計10室）を確保

※ 「もみじ」及びHPに掲載

### 3. 医療活動支援関係

#### (1) DMAT（災害派遣医療チーム）

医師2名，看護師2名，薬剤師1名を3月11日～3月15日まで派遣

#### (2) 緊急被ばく医療対策関係

※ 本学は，文部科学省から西日本ブロック地域の三次被ばく医療機関として選定されている。

3月12日（土）に緊急被ばく対策委員会（委員長：緊急被ばく医療推進センター長）を設置し，同日から「緊急被ばく医療チーム」の派遣を開始

○ 3月12日（土）～4月28日（木） … 12班を派遣

・ 班構成 … 6～8人（医師，診療放射線技師等，看護師，事務職員）

・ 派遣期間 … 5～6日

☆ 4月18日（月）に福島大学職員OB（1人）を支援要員として採用

○ 4月28日（木）～5月20日（金） … 6班を派遣

・ 班構成 … 2～4人（医師，診療放射線技師等，看護師，事務職員）

・ 派遣期間 … 5～6日

○ 5月20日（金）～ 継続中 … 本日（5/24）まで2班を派遣

・ 班構成 … 5～7人（医師，診療放射線技師等，看護師，事務職員）

・ 派遣期間 … 4～6日

※ 3月12日（土）～5月24日（火）までの延べ派遣人数

医師…209人 放射線技師等…97人 看護師…77人

事務職員…158人 合計 541人

#### (3) 「三次被ばく医療機関」としての広島大学の活動内容

（上記の医療チームの活動内容を含む）

- ① オフサイトセンター（緊急事態応急対策拠点施設）や初期スクリーニング拠点において患者のへり搬送，診断，除染を実施
- ② 患者搬送ルートの概要決定（放射線医学総合研究所と協議）
- ③ 汚染をスクリーニングする体制整備，スクリーニング法の指導並びに多数の市民及び小児甲状腺のスクリーニング実施 ⇒ 住民の不安軽減や「安心・安全」を提供
- ④ 福島県立医科大学の医師，看護師等に対する緊急被ばく医療セミナー実施  
⇒ 医療従事者が安心して被ばく患者を受け入れられる環境を整備

- ⑤ 現地にワゴン車2台投入による緊急被ばく医療活動の機動力確保
- ⑥ 緊急被ばく医療活動を支援する備品や食品、水等を寄附（車1台分）
- ⑦ 広島大学を代表して、神谷緊急被ばく対策委員長が次のとおり委嘱を受けている。
  - ・ 平成23年3月～ 福島県立医科大学理事長付特命教授
  - ・ 平成23年4月～ 福島県放射線健康リスク管理アドバイザー
  - ・ 平成23年4月～ 内閣官房政策調査員
- ⑧ 放射線影響研究機関協議会に神谷緊急被ばく対策委員会委員長出席
- ⑨ 本学と福島県立医科大学との連携に関する協定（教育研究診療の進展、被ばく医療・放射線影響に係る研究拠点の形成等）締結（浅原学長出席）
- ⑩ 活動拠点を福島県オフサイトセンター及びジェイビレッジから福島県立医科大学に移転（緊急被ばく医療チーム編成を縮小；4月28日）
- ⑪ 福島第一原発から20km以内への住民の一時帰宅に伴う放射線測定要員に対する指導的役割を担う要員派遣

#### (4) 広島大学病院での被災者医療支援関係

- ① 除染設備の仮設配管及び貯留設備の整備（3月17日完了）
- ② 県内6病院の連携による被ばく患者の受入れ体制の構築  
（本学は、重症4床、中症4床を確保し、未除染患者も受入れ可能）
- ③ サーベイ検査  
これまで、34人に対して実施（広島県警察機動隊の帰還隊員の検査についても、警察学校において別途実施）

#### (5) 他機関等の依頼による派遣

- ① HICARE放射線量測定チーム（広島県）
  - 3月16日（水）～22日（火）福島県においてスクリーニング検査（技術センター 技術専門職員 参加）
- ② 歯科医師の派遣（警察庁）
  - 4月8日（金）～14日（木）歯科医師3人が宮城県内において遺体身元確認（検視）に従事（医歯薬学総合研究科：准教授，特任助教，病院：助教）
- ③ 京都大学原子炉実験所（広島市受託研究費）
  - 3月28日（月）～30日（水）栃木県・福島県の各地において緩急放射線モニタリングを実施（工学研究院：准教授）
- ④ 核物理研究者チーム（大阪大学核物理研究センターが代表）
  - 3月25日（金）～30日（水）福島県においてスクリーニング検査等（原爆放射線医科学研究所：教授，助教）
- ⑤ 東北関東大震災復興支援特別委員会（公益社団法人日本心理学会）
  - 当該委員会の委員への就任（任期 4/9～翌年3/31；教育学研究科：准教授2人）
- ⑥ 宮城派遣一次隊ボランティア派遣（社団法人日本理学療法士協会）
  - 4月16日（土）～23日（土）生活機能対応専門職チームとして生活不活発病に対するアプローチなど（保健学研究科：教授，ボランティア特別休暇）
- ⑦ 広島医療チーム（広島県）
  - 4月24日（日）～4月30日（土）福島県須賀川市の避難所等において診療活動を実施（医歯薬学総合研究科：特任助教，病院：講師，助教，看護師2人，事務）

#### 4. 教職員・学生の安否確認

##### (1) 安否確認

- 教職員及び対象学生 553 人全員の無事を確認 (3月23日)

##### (2) 家屋等の被災

- 在学生 20 人, 新入生 5 人, 教職員 4 人 (4月1日現在)  
(在学生のうち 1 人 (3月卒業) は, 新入生 (M) にも重複カウント)
- 主たる家計支持者の自宅が全半壊した者 (5月20日調べ)  
学部生 5 人 (うち新入生 2 人), 大学院生 2 人
- 主たる家計支持者が失業又は就業見込みが立たない者 (5月20日調べ)  
大学院生 1 人

#### 5. 義援金募金活動

- ① HP, 「いろは」及び「もみじ」に協力要請記事を掲示, 各室・部局等に対して協力を要請 (3月15日)
- ② 3月中に寄せられた義援金  
15,092,249 円 (4月8日 日本赤十字社広島県支部へ振込)
- ③ 4月中に寄せられた義援金  
4,048,112 円 (5月16日 日本赤十字社広島県支部へ振込)
- ④ 5月30日 (月)  
合計 19,140,361 円の目録を日本赤十字社広島県支部へ贈呈予定

#### 6. 災害救援物資の支援関係

- ① 3月19日 (土) 災害救援物資を発送 (3月22日 (火) 東北大学及び福島大学へ到着)
- ② 4月14日 (木) 東北大学歯学部から依頼のあった救援物資 (義歯洗浄剤 300 個, 義歯ケース 300 個) を発送
- ③ 4月26日 (火) 岩手県大槌町の教育委員会から支援要請を受け, 救援物資 (箒, ちりとり各 30) を発送 (附属学校支援 G)

#### 7. 被災施設対応関係

##### (1) 応急危険度判定士の派遣準備

文部科学省からの依頼により, 被災文教施設応急危険度判定士の資格を有する職員 3 人の派遣を準備。

##### (2) 技術職員の派遣依頼

全国施設担当部課長会 (会長: 東京大学) からの依頼により, 被災大学等への技術職員の派遣を準備。

#### 8. 被災者受入対応関係

##### (1) 被災者用宿舎の提供準備

- ① 文部科学省からの依頼により看護師宿舎 (8 室) 及びレジデントハウス (19 室) を提示

(2) 被災地の国立大学在学中の外国人留学生の一時待避受入れ準備

- ① 国立大学法人理学部長会議構成大学（32大学）において対応が検討され、本学理学研究科で受入れ支援を行うこととした。
- ② 受入人数：10名（山中会館に2人分確保。他は民間等を予定）
- ③ 受入期間：3月22日（火）～3月31日（木）

(3) 東北・関東地区の大学に在学中の学生及び入学予定者に対する本学図書館の利用便宜

(4) 被災地の学生・研究者受入

- ① 法科大学院協会からの東北大学及び東北学院大学の法科大学院生の受入支援の照会に対し、新司法試験受験終了日まで受入可能（図書館、自習室、パソコン及び学生宿舎の利用）を回答  
⇒ 法務研究科において東北学院大学の法科大学院生（3年）1人を受入れ  
受入期間 … 4月5日～5月6日  
宿泊施設 … 病院レジデントハウスを提供（無償）
- ② 国際協力研究科において東北大学大学院の学振特別研究員（本学I D E Cで学位取得）1人を受入  
受入期間 … 3月21日～4月22日  
宿泊施設 … 山中会館を提供（無償）
- ③ 理学研究科附属臨海実験所において被害を受けた各大学の臨海実験所等関係者に対する宿泊施設（無償）、実験室（実習のある8、9月を除く。）を提供する旨をマリンバイオ共同推進機構（J A M B I O）のHPへ掲載中
- ④ 文科省（学術機関課）から照会に対して放射光科学研究センターにおいて共同利用・共同研究の受入可能を回答
- ⑤ すべての学部・研究科において被災地域の学生に対する講義の履修、聴講等及び宿泊施設を無償で受入・提供する旨をHPへ掲載中
- ⑥ 被災地域の大学のみならず、計画停電等による影響が懸念される関東以北の大学等の研究者に対して研究スペース・研究装置等の利用等可能な支援を行う旨をHPへ掲載中
- ⑦ 生物生産学部において北里大学海洋生命科学部の学生（4年）1人を受入予定  
受入期間 … 6月1日～平成24年3月31日  
宿泊施設 … 池の上学生宿舎を提供（無償）

(5) 情報機器利用提供

被災地域の大学の学生（入学予定者を含む）・教職員に対する本学教育用情報端末及びネットワークの利用便宜をHPへ掲載中

9. 放射線量等測定支援関係

(1) 放射能機能測定可能施設の情報提供

- ① 文部科学省へ「緊急時における食品の放射能測定マニュアル」（H14.5.9 厚労省）に示すNa1（TI）シンチレーションサーベイメータの本学の保有状況（8台）を情報提供
- ② 「緊急時における食品の放射能マニュアル」に示す6種類の分析のうち3種類の分析が実施可能である旨を回答（自然科学研究支援開発センターアイソトープ総合部門）

(2) 空間放射線量率調査の実施地点拡大に伴う協力

- ① 文科省からの「都道府県別環境放射能水準調査」の放射線量率調査実施地点の拡大に伴う協力依頼に関し、自然科学研究支援開発センターアイソトープ総合部門において実施可能である旨を回答
- ② 文科省の依頼により、ポケット線量計を屋外に設置し、4月12日（火）から積算線量を毎日14時に測定（自然科学研究支援開発センターアイソトープ総合部門）

(3) 広島大学東広島キャンパス内における大気中の放射性物質の測定

工学研究院（静間 教授）が、3月20日（日）から測定を実施・公表

4月27日以降（5月8日まで）放射性物質が検出されていないため5月9日から週1回の測定

10. ホームページ等による情報発信

(1) ホームページによる情報発信

3月15日（火）本学ホームページのトップページに「東北地方太平洋沖地震に関する緊急のお知らせ」をアップ（学生、留学生、新入生、保護者等への情報及び放射線に関する基礎的な情報等を発信） ※ 英語及び一部中国語にも対応

(2) その他

留学生に対する放射能汚染に関する正確な情報伝達のため、東広島地区及び広島地区において英語による講演会を実施

- 第1回 東広島キャンパス（サタケホール）

2011年4月19日（火） 18時～午後19時30分

- 第2回 霞キャンパス（医学部第1講義室）

2011年4月20日（水） 18時～午後19時30分

- 第3回 東広島キャンパス（総合科学研究科L102講義室）

2011年4月22日（金） 18時～午後19時30分

※ 3日間で、延べ約80人の留学生や外国人研究者が参加

以 上

No.	所在地	受入可能研究者氏名等	受入可能研究者の所属	受入可能人数・期間・研究スペースについて	研究機器の共用などについて (広島大学内において共用使用して頂くことが可能な機器)	その他可能な支援	受入先等の連絡先	
							電話番号	メールアドレス ([at]を@に変更して下さい)
1	東広島キャンパス	土屋 英子	先端物質科学研究科:分子生命機能科学講座	2名・2011/7/1~9/30(先端物質科学研究科503W)	生命科学用機器一般		082-424-7868	etsuchi[at]hiroshima-u.ac.jp
2	東広島キャンパス	奥田 哲士	環境安全センター:環境安全センター	5名・2011/4/30~3/31 環境安全センター 管理室	濁度計 TokyoPhotoElectric ANA-148 クリーンベンチ Bio-Labo NS-8A 遠心分離機 Kokusan H63n 吸光度計 島津 UV-1800 吸光度計 島津 UVmini-1240 pH計 Horiba F-51 EDX 島津 EDX-720 全有機炭素計 島津 TOC-5000A 全有機炭素計 島津 TOC-V GSN ゼータ電位計 ZEECOM ZC-2000B 元素分析 Yanaco MT-700 ジャーテスタ スギヤマゲン WT-6 イオンクロマトグラフ 島津 PROMINE-NLE FT-IR パーキンエルマ SpectrumOne 接触角計 協和界面 Face-DropMaster300 ICP VARIAN 720-ES ガスクロマトグラフ-ECD 島津 GC-14B-ECD ガスクロマトグラフ-FID 島津 GC-14B-FID ガスクロマトグラフ-MS 島津 GC-MS QP5050 落射蛍光顕微鏡 Nikon 原子吸光度計 島津 AA-6800 自動燃焼-吸収装置 AQF-100 燃焼炉 ISUZU ACS-AHPLC JASCO CO-Plus		082-424-6197	
3	東広島キャンパス	黒田 則博	教育開発国際協力研究センター:教育開発国際協力研究センター	被災大学が教育開発及び関連の分野で外国人研究員受入を予定していたが、被災のためその受入が困難になっている場合、8月以降の代替受入れについて協議する用意がある(センターの研究室1室(大学院国際協力研究科棟6階)の提供)。	特別な機器を所有しておりません。		082-424-6245	kuroda[at]hiroshima-u.ac.jp
4	東広島キャンパス	宇根 義己	現代インド研究センター:現代インド研究センター	2名程度(最大4名)・2011/4/18-12/31・60m2・1部屋(教育学研究科K棟313)	複写機スキャナー GIS(ArcGISデスクトップ、学内ライセンス使用)		082-424-4529	yune[at]hiroshima-u.ac.jp
5	東広島キャンパス	中島 覚	<a href="#">自然科学研究支援開発センター:アイソトープ総合部門</a>	2名・2011/5/6~7/29・40m2・1部屋(アイソトープ総合棟L103)	ゲルマニウム半導体検出器(型式:EG&G ORTEC社製、GEM-50195-P型) 液体シンチレーションカウンタ(型式:アロカ社製、LSC-LB5型) 2πガスフローカウンタ(型式:アロカ社製、LBC-482P型)	放射性同位元素利用研究スペース	082-424-6291	snaka[at]hiroshima-u.ac.jp
6	東広島キャンパス	田中 伸和	<a href="#">自然科学研究支援開発センター:遺伝子実験部門</a>		蛍光顕微鏡(型式:ニコンTE2000) フローサイトメーター(型式:Becton Dickinson FACS Calibur) リアルタイムPCR用サーマルサイクラー(Roche LightCycler) リアルタイムPCR用サーマルサイクラー(ABI StepOnePlus) ルミノメーター(Promega GLOMAX) 蛍光マルチプレートリーダー(TECAN Infinite 200) 超遠心機(Beckman OptimaTLX) 化学発光検出器(Bio-Rad ChemidocXRS)	DNA塩基配列決定サービス(反応+精製+解析) 超低温槽(-80℃)(幅67?×高さ25? ×奥行60?のスペース)	082-424-7875	ntana[at]hiroshima-u.ac.jp
7	東広島キャンパス	松原 主典	大学院教育学研究科:人間生活教育学講座	1名・2011/4/25~2011/8/31・8m2・1部屋(教育学研究科B棟503) 2名・2011/9/1~2012/3/31・8m1・1部屋(教育学研究科B棟503)	クリーンベンチCO2インキュベーター 倒立顕微鏡リアルタイムPCRシステム 動物飼育装置(マウス・ラット)		082-424-6854	kmatsuba[at]hiroshima-u.ac.jp
8	東広島キャンパス	酒井 弘	大学院教育学研究科:日本語教育学講座	1~2名・2011/4/20~9/30・4m2・1部屋(教育学研究科A棟206)	脳波計(形式:Brain Product QuickAmp) 視線計測器(形式:Tobii T120)	脳波計測消耗品	082-424-6873	hsakai[at]hiroshima-u.ac.jp
9	東広島キャンパス	竹澤 晃弘	大学院工学研究院:機械システム・応用力学部門	数名・2011/4/20~・1部屋(工学部A2-141)	研究用PC数台		082-424-7544	akihiro[at]hiroshima-u.ac.jp
10	東広島キャンパス	工学研究科運営支援グループ	大学院工学研究院:物質化学工学部門		質量分析計(LC-MS)		082-424-7505	kou-bucho-soumu[at]office.hiroshima-u.ac.jp
11	東広島キャンパス	長沼 毅	大学院生物圏科学研究科:環境評価論講座	1名・2011/4/30~6/10・10m2・1部屋(生物圏A棟4階A403号室)	遺伝子増幅装置(ふつうの市販PCR装置)冷却遠心機	遺伝子解析	090-1187-4587	takn[at]hiroshima-u.ac.jp
12	東広島キャンパス	山本 民次	大学院生物圏科学研究科:環境予測制御論講座	2名・2011/4/20~・10m2・1部屋を他の人と5名程度でシェア(生物圏科学研究科A棟407)	分光光度計(型式:日立U-2000) オートアナライザ(型式:ブランルーベSWAAT) TOC計(型式:島津TOC-5000)	水・泥サンプル低温保存(-20度)	082-424-7945	tamyama[at]hiroshima-u.ac.jp
13	東広島キャンパス	田辺 創一	大学院生物圏科学研究科:食資源科学講座	最大で3名程度・2011/4/30~9/30・約20m2・1部屋(生物圏科学研究科A棟819)	HPLCシステム(日本分光)古いですが、その他、分光光度計、遠心分離機等、使って頂けると幸いです。	どうぞご相談ください。こちらで対応可能な範囲で考えてみます。	082-424-7932	stanabe[at]hiroshima-u.ac.jp
14	竹原市	大塚 攻	大学院生物圏科学研究科附属瀬戸内圏フィールド科学教育研究センター:附属瀬戸内圏フィールド科学教育研究センター	1名・2011/4/25-2012/3/31・約10m2・1部屋(竹原ステーション212号室)	低真空走査型電子顕微鏡(日本電子JSM-6510LV) 蛍光顕微鏡(ニコンエクリプス)エンジン付き調査船(14名乗り)	竹原ステーションにおける宿泊	0846-22-2362	ohtsuka[at]hiroshima-u.ac.jp
15	東広島キャンパス	生物圏科学研究科運営支援グループ	大学院生物圏科学研究科附属瀬戸内圏フィールド科学教育研究センター:附属瀬戸内圏フィールド科学教育研究センター	西条ステーション(農場)1~2名・2011/4/30~7/31・10平米・1部屋(農場管理棟3階)尚、これらの情報は本研究室の谷田と黒川准教授が相談の上での内容です。個人というよりは研究室としての情報となります。	家畜の飼料分析機器など		082-424-7904	sei-bucho-sien[at]office.hiroshima-u.ac.jp
16	東広島キャンパス	田中 晋平	大学院総合科学研究科:環境自然科学講座	2名・2011/4/30~9/30・1部屋(総合科学研究科C棟101)	共焦点顕微鏡(型式:ニコンTE2000)動的光散乱装置明視野顕微鏡		082-424-6551	shinpei[at]hiroshima-u.ac.jp
17	東広島キャンパス	斎藤 祐見子	大学院総合科学研究科:行動科学講座	1名 2011/4/30~8/10/11・実験室が1部屋しかないの、皆と同居(総合科学研究科C棟319)	蛍光マイクロプレートリーダー	蛍光マイクロプレートリーダーによる細胞内Ca2+測定 動物実験室の共用使用可能です。ラット数程度なら受け入れることができます。十分な支援はできませんが、できるだけ支援はしたいと思っております。	082-424-6563	
18	東広島キャンパス	総合科学研究科運営支援グループ	大学院総合科学研究科:行動科学講座	1名・2011/4/30~6/10・10m2・1部屋(総合科学研究科A棟228)現在坂田省吾教員室として使用中ですが、同居してもらっても結構です。1名ならば座れます。			082-424-6306	souka-soumu[at]office.hiroshima-u.ac.jp
19	東広島キャンパス	総合科学研究科運営支援グループ	大学院総合科学研究科:行動科学講座	2名 2011/6/1~9/30 10m2 1部屋(総合科学研究科A113)	3次元動作解析装置(DKH FrameDIAS)		082-424-6306	souka-soumu[at]office.hiroshima-u.ac.jp